

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年9月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	静岡市役所	代表者名	田辺 信宏
担当者部署	ICT推進課	連絡先電話番号	054-221-1341
担当者役職		担当者氏名	
住所	420-8602 静岡県静岡市葵区追手町5番1号		
		連絡先E-mail	

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	職員がデータをエビデンスとして施策形成できるノウハウを蓄積し、さらに今まで導入していないイノベーション技術により仕事の実施方法が変わってくることが職員が習得できたと考えている。 さらに、今回の成果を市上層部に報告するためのまとめまでができたことが非常に有意義な取り組みになった。 来年度も同様の取り組みが実施できればと考えている。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2019年9月13日	9時30分	14時00分	60	210
3-2. 派遣場所	会場名	encia		最寄駅	静岡駅
	所在地	静岡市葵区御幸町6-10			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	静岡市職員	17 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	地方自治体でもAI、ビッグデータに代表されるイノベーション技術を取り込むことで自治体サービスそのものが変革していく時期にきている。イノベーション技術を取り込むには施策を立案する職員がデータ分析によるエビデンスを示す力が必要となるが、職員にその考え方が浸透していないことが課題となっている。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	働き方改革を実施フィールドとして以下の職員の育成を目指す。 ・EBPMに基づく施策立案ができる職員 ・データ活用により課題抽出や解決ができる職員 ・データ活用によりイノベーション技術を取り込むことで仕事が変わられる職員	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	EBPMに基づいた働き方改革の現在の課題、今後行っていくべきICT技術を取り込んだ将来像とその効果のまとめを実施。 上記、まとめを上層部へのプレゼン資料としてまとめるように支援を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	新しい技術を導入することで働き方改革につながることを参加者個人で考えられる能力を職員が得ることができた。 さらに考えたことを簡潔にわかりやすくまとめ、説明できるように、参加職員が成長することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 特になし	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	イノベーション技術を活用した働き方改革の静岡市における推進。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

